

担当地区等の現状と今後の対応

玉那覇 靖

1. 概要

昨年度より、地区担当制を導入し、よりきめ細かい対応を推進することができた。地区担当ということで巡回指導地区への責任が明確になり、巡回の多い地区で1週間に3回近く回れた地区もあった。

しかし、普及員1名で6地区（1市2町3村、7漁協、1任意組合）の月1回以上の巡回指導の負担は重い上、専門の担当業務にも多くの時間を割かれたため、1年間を通して回数しか回れないのが2地区あった。

又、地区の課題から派生する「赤土問題」や「流通問題」等に多くの時間をかけた。

2. 担当地区と専門担当業務の次年度への展開等

担当地区と専門担当業務の次年度への展開等については、表のとおりとなっている。

今後は、普及活動と課題の抽出と達成度の評価が大きな課題となっている。

表 担当地区と専門担当業務の次年度への展開等

課題名	担当地区への指導	漁業公害調査指導事業	流通関連対策	普及だより	沿岸漁場整備開発事業	海外研修生受け入れ
協力者	今帰仁、本部、恩納、読谷、嘉手納、那覇の各漁協等	水産業中央会 各漁協、漁業者	本部町、大宜味村、宜野座、読谷、沖縄市那覇、糸満の各漁協等	漁業者、漁協等	漁業者、漁協等	漁協、漁業者等
目的	漁業者からの情報収集と行政施策の伝達。又行政への情報提供。	漁業公害の未然防止。	流通の実態解明と情報の収集と対策。	関係者への情報の提供。	沿整法の目的達成。	海外研修生への指導。
目標	良好なコミュニケーション。	良好な漁場環境	各地区で漁協が中心となった流通対策がとれること。	関係者に対し、じんとした情報提供。	3次沿整計画の支援 4次計策定支援	各研修の支援
方法	・各関係機関との検討会 ・活性化計画策定 ・各種勉強会開催等	・月1回の水温、湿度、測定 ・テキスト作成し、講習会 ・地域での指導	・流通調査・電算化による計数管理。パイヤーへの営業活動支援等。	・普及だより発行 ・普及ニュース発行 ・関係機関への協力	・巡回指導 ・計画策定に向けたアンケート	・講習会開催 ・説明会、視察、案内
結果	・恩納婦人部結成 ・活性化計画策定（読谷）	・月1回の測定等 ・テキストを作成した ・講習会を開催した	・事例調査(大宜味・糸満) ・電算化(大宜味・読谷) ・モズクマニュアル作成 ・製品開発(本部・那覇)	・普及だより11回発行 ・普及ニュース9回発行 ・関係機関へ協力	・沿整指導 ・アンケートの実施	・南太平洋諸国 ・ニカラグア、フィリピン等
問題点	・今帰仁、嘉手納の漁協等が巡回少い	・テキスト印刷等の予算が少い	・事業化の検討	・情報の提供	・指導の強化 ・アンケートの回収	・事前の協議
次年度への展開	・各地区の年度目標の策定	・業務の重点配分	・事業化の検討 ・漁連との連携強化	・編集体制強化	・有効な事業展開の検討。 マニキュア化	・支援体制の検討